

第二次佐久市総合計画前期基本計画進行管理について

1 第二次佐久市総合計画の構成

(1) 基本構想（平成29年度～平成38年度）

時代の潮流や本市の特徴を踏まえ、10年先の将来に向けてのまちづくりの基本理念と目指すべき将来都市像を明らかにし、それを実現するための施策の大綱を定めた長期的なまちづくりの指針となるもの。

＝佐久市の将来都市像＝

「快適健康都市 佐久」

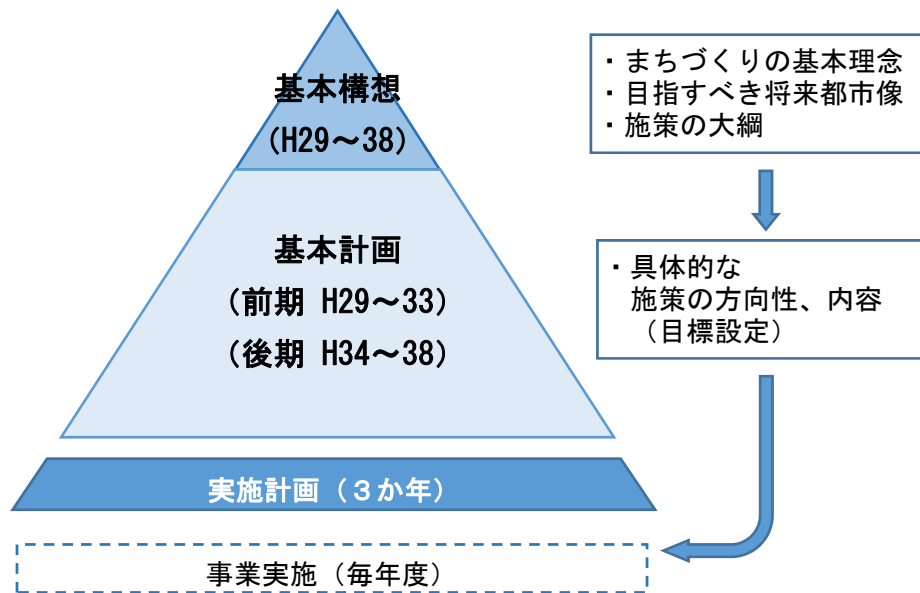
～希望をかなえ 選ばれるまちを目指して～

(2) 基本計画（10年間、5年間経過後に見直し）

基本構想の施策の大綱に基づき、その基本理念と将来都市像を実現するために、実施すべき具体的な施策の方向性と内容を示した中期的な計画。

社会経済情勢の変化や新たな市民ニーズに対応するため、5年経過後に後期の基本計画を策定。

○前期基本計画（平成29年度～平成33年度）



2 前期基本計画の進行管理

前期基本計画は、5つの重点プロジェクトにおけるプロジェクト目標と、施策毎の施策目標を設定しており、これら施策等の進捗状況に対して進捗状況評価を実施し、その結果を来年度以降の施策へ反映する。

3 進行管理方法

(1) プロジェクト目標（総合計画50、51、52ページ）

ア プロジェクト目標の設定

前期基本計画では将来都市像の実現を目指し、施策横断的に取り組む5つの重点プロジェクトを掲げ、各重点プロジェクトに成果指標としてプロジェクト目標を設定している。

1 重点プロジェクト「安定して働き続けることができるまち」	
プロジェクト目標：市内事業所の従業者数【経済センサス】	
現状値（H26）	目標値（H32）
40,203人	41,500人
2 重点プロジェクト「多くの人に選ばれることができるまち」	
プロジェクト目標：人口の社会動態（計画期間の累計）【長野県毎月人口異動調査】	
現状値	目標値（H29～33累計）
—	1,000人
3 重点プロジェクト「安心して結婚し、子どもを生き育てることができるまち」	
プロジェクト目標：合計特殊出生率【佐久市調】	
現状値（H27）	目標値（H33）
1.52	1.74
4 重点プロジェクト「安心して暮らし続けることができるまち」	
プロジェクト目標：「佐久市は住みやすいと」回答する人の割合【市民アンケート】	
現状値（H28）	目標値（H33）
78.7%	80%
5 重点プロジェクト「健やかに暮らし続けることができるまち」	
プロジェクト目標：健康寿命【佐久市調】	
現状値（H26）	目標値（H32）
男性79.89歳 女性84.32歳	男性 延伸 女性 延伸

※重点プロジェクト目標は「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標とリンクしています。ただし、5の「健やかに暮らし続けるまち」は、総合計画の策定時に総合戦略の基本目標になかった健康長寿の視点を追加しています。

イ プロジェクト目標の進捗状況評価

プロジェクトの進捗状況について、各所管課が総合分析を実施の上、今後の方針を示す。

例【1 重点プロジェクト：安心して働き続けることができるまち】

数値目標の進捗状況									
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
市内事業所の従業者数	目安値		—	40,560	—	40,920	41,100	人	
	【経済センサス】実績値	40,203	—	40,369	—				
	進捗区分		実績値なし	努力を要する	実績値なし				
総合分析	<p>基本目標①の数値目標は国の基幹統計調査に基づき設定しています。平成29年度は経済センサスの調査が行われていないため、実績値を把握することができないことから、「実績値なし」となります。</p> <p>「市内事業所の従業者数」は、H28における目安値を下回ったものの、基準値(H26)の40,203人から166人増加しており、企業誘致や企業の経営基盤強化による雇用の確保など、安心できる暮らしを支えるための「しごと」の確保に向けた取組を引き続き推進することが必要です。</p> <p>H28実績値を産業大分類別にみると、「製造業」が9,062人(全産業の22.5%)と最も多く、次いで「卸売業、小売業」が7,741人(同19.2%)、「医療、福祉」が6,819人(同16.9%)となっており、上位3産業で全体の5割以上を占めています。</p> <p>なお、基準値(H26)と産業別の比較をすると、「建設業」△260人、「卸売業、小売業」△257人、「製造業」△252人の順で減少数が多くなっている一方、「医療、福祉」は920人増となっており、「医療、福祉」分野の従業者数が大きく増加しています。佐久市経済の持続的な発展のために、減少傾向が見られる分野の現状の打開を図るとともに、本市の強みである「健康長寿」を生かした産業への支援により、しごとの創出の加速化を図ることが重要と考えます。</p> <p>基本目標に係る重要業績評価指標(KPI)は、15項目のうち、H29では、「順調」が4項目、「努力を要する」が6項目となりました。</p> <p>※H28実績値は、H28経済センサス活動調査の速報結果により記載しています。</p>								
今後の方針	<p>「努力を要する」となったKPIは、「保健医療分野における視察研修の受入人数」、「ヘルスケア関連産業における新製品・新技術の開発件数」などでした。視察研修の受入人数については、現在、保健・医療のつばさ事業において、医療機関、学術機関と連携した視察受入を実施していますが、受入プログラムの見直し、充実を図ることにより視察者の滞在日数は延びており、延べ人数は大幅増となっています。平成30年度からは、新たに歩行に着目した新しい健康づくり事業を実施し、「健康長寿」の更なる磨き上げを図り、国内外への健康長寿ブランドの発信に努めます。ヘルスケア関連産業における新製品・新技術の開発に当たっては、平成29年度末に、研究開発や創業支援を行う「佐久産業支援センター」を商工団体との連携により設立し、佐久市の強みである「健康長寿」を生かした産業の活性化に向け、平成30年度より活動を開始しました。</p> <p>医療・福祉分野のほかにも、農村グリーンツーリズムに取り組む者に対する農家民宿の改修に対する支援や創錬の森(県立武道館等)の整備・活用、内山地区における環境拠点の整備、佐久市シティプロモーション事業等の平成30年度からの新たな取組の実施により、農林水産業分野や観光分野等における交流人口の創出と地域経済の活性化を図り、それらの波及効果により地域産業の雇用創出力の向上を目指します。</p>								

※総合戦略の基本目標の進捗状況評価として実施

(2) 施策目標（総合計画58ページ～169ページ）

ア 施策目標の設定

基本計画における全49施策毎に市民アンケートによる市民満足度指数を目標値として設定している。第二次佐久市総合計画の基本理念である「市民の実感から始まり、実感に結びつくまちづくり」に基づき市民の満足度を目標とした。

例：施策名「学校教育」



※市民アンケートによる満足度指数

市内に在住する16歳以上の男女1,000人を対象に調査したもの。「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらでもない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点として平均点を集計。

イ 施策目標の進捗状況評価

総合計画の基本計画に示された49の施策への取組による実績・成果の達成状況と、施策目標を達成するための今後の取組について検討する。

市の行政評価システムの一部（施策評価）として実施し、各所管課がそれぞれの施策について、施策の進捗状況、今後の方針等を示す。

4 総合計画審議会での審議について

「前期基本計画における施策の進捗状況や取組に関する事項」について意見を求める旨の本審議会への諮問に基づき、同計画が定めるプロジェクト目標と49の施策目標の進捗状況評価についてご意見をいただく。

プロジェクト目標の進捗状況評価については、目標が「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標、KPIと同じであるため、先行して行う総合戦略の進行管理にて審議を行う。

施策目標については、平成29年度は市民満足度アンケート（2年に1回実施）が未実施であり、指標の評価は行えないが、施策の進捗状況、今後の方針について各課が分析したものについて、今後、市民の満足度を上げるためにはどのような取組を行ったら良いのか意見し、前期基本計画の進行管理のまとめを行う。

5 部会設置

審議の円滑化のため、進行管理の詳細は、3部会にて審議する。

	部会名	第二次佐久市総合計画前期基本計画担当箇所 (主な分野)
ア	第1部会	第1章(教育、文化、生涯学習)
		第6章(防災、交通安全、防犯)
		第7章(協働、行財政、交流分野)
イ	第2部会	第2章(交通、都市基盤整備)
		第3章(農業、商工業、観光、雇用)
ウ	第3部会	第4章(保健、福祉、子育て支援)
		第5章(自然環境、生活環境、上下水道)

6 審議スケジュール

概ね下図のスケジュールにて実施

